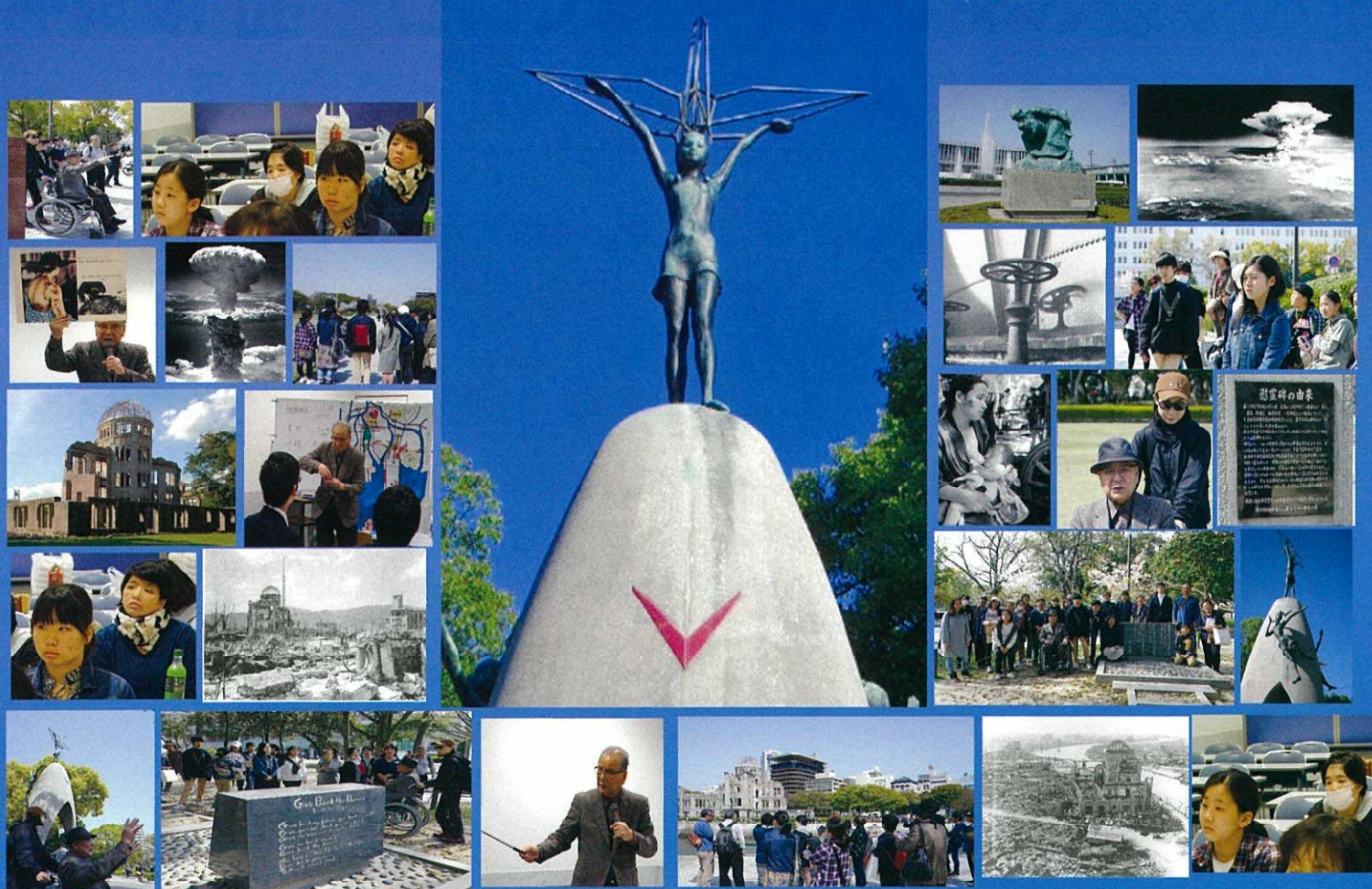


第32回「筑紫地区8・6平和のつどい」 平和劇「命～ヒロシマ・ナガサキのねがい」

原子爆弾と「NPO 法人筑紫原爆被害者の会」



1945年8月、広島と長崎の上空で原子爆弾が炸裂し、その熱線と爆風によって一瞬のうちに約21万人の命が奪われた。たった2発の原子爆弾は、人々の生活の場や物資、健康を奪い、放射線被ばくによる差別と苦しみの日々が始まった。しかし、苦しみに耐えるだけでは無かった。1954年、米国の水爆実験を機に原水爆禁止世界運動が巻き起こり、被爆者も立ち上がった。核兵器廃絶と被爆者援護法制定を目指し「日本原爆被害者団体協議会（被団協）」を結成、1967年には「筑紫原爆被害者の会」を誕生させ、核廃絶に向けた署名運動や会員相互の連帯、地域・学校等での啓発活動を展開してきた。52周年を迎え今も会員それぞれが「大切な世界を恒久の平和で守りたい」との熱い想いをたぎらせている。

- I. 開会行事
- II. ヒースフラワーズと一緒に歌おう
- III. ヒロシマ・ナガサキ・フクシマの祈り
- IV. 朗読と映像 - (休憩)
- V. 平和劇
- VI. 閉会行事

とき：2018年8月9日（木）開場 18:00 開演 18:30 終演：20:30

ところ：プラム・カルコア太宰府（太宰府中央公民館）

〒818-0101 太宰府市観世音寺1丁目3番1号 TEL:092-921-2101

入場無料

主催：筑紫地区8・6平和のつどい実行委員会 脚本・演出・出演：筑紫子ども会議

後援：●太宰府市 ●筑紫野市 ●大野城市 ●春日市 ●那珂川町 ●および各市町教育委員会 ●福岡県退職教職員協会筑紫支会
●連合福岡筑紫・朝倉地域協議会 ●筑紫平和・人権センター ●筑紫地区同研連絡協議会 ●朝日新聞社 ●西日本新聞社
●毎日新聞社 ●読売新聞西部本部 ●KBC九州朝日放送 ●KBC毎日放送 ●TVQ九州放送 ●FBS福岡放送 ●TNCテレビ西日本

— 問合せ先 TEL: 092-581-1037（筑紫教育会館） —